

# クレディター・プレゼンテーション

2015年3月期第4四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2015年4月

## 目次

## プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-P3)
- 2015年3月期決算概要(P4)
- 営業部門(P5)
- アセット・マネジメント部門(P6)
- ホールセール部門(P7-8)
- 金融費用以外の費用(P9)
- バランスシート・マネジメント
  - 強固な財務基盤を維持(P10)
  - 資金調達と流動性(P11)
  - 調達構造(P12)
  - 流動性ポートフォリオ(P13)
- 信用格付(P14)

## 参考資料

- バランス・シート関連データ(P16)
- 連結損益(P17)
- 連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P18)
- 営業部門関連データ(P19)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P20)
- ホールセール部門関連データ(P21)
- セグメント「その他」(P22)
- バリュースコア・リスク(P23)
- 人員数(P24)

# エグゼクティブ・サマリー

## 2015年3月期通期の決算ハイライト

- **当期純利益<sup>1</sup>(2,248億円)は前年比5%増益**  
**～米国会計基準の適用を開始した2002年3月期以降、2006年3月期<sup>2</sup>に次ぐ高水準**
  - 税前利益は前年比で減少するも、実効税率の低下により当期純利益は増加
  - 利益成長と株主還元強化を受けてEPS<sup>3</sup>は前年比8%増加～2016年3月期EPS目標(50円)を2年連続で達成

- 収益:	1兆6,042億円	(前年比:3%増)
- 税前利益:	3,468億円	(前年比:4%減)
- 当期純利益 <sup>1</sup> :	2,248億円	(前年比:5%増)
- ROE:	8.6%	(前年:8.9%)
- EPS <sup>3</sup> :	60.03円	(前年:55.81円)
- 一株当たり配当金:	期末 13円、年間 19円	(前年比 2円増配)

- **3セグメント合計の税前利益は2,761億円(前年比:17%減)**

### 営業部門

- 好調だった前年比では減速するも、引き続き、全社利益を牽引
- 顧客資産残高は過去最高の109.5兆円

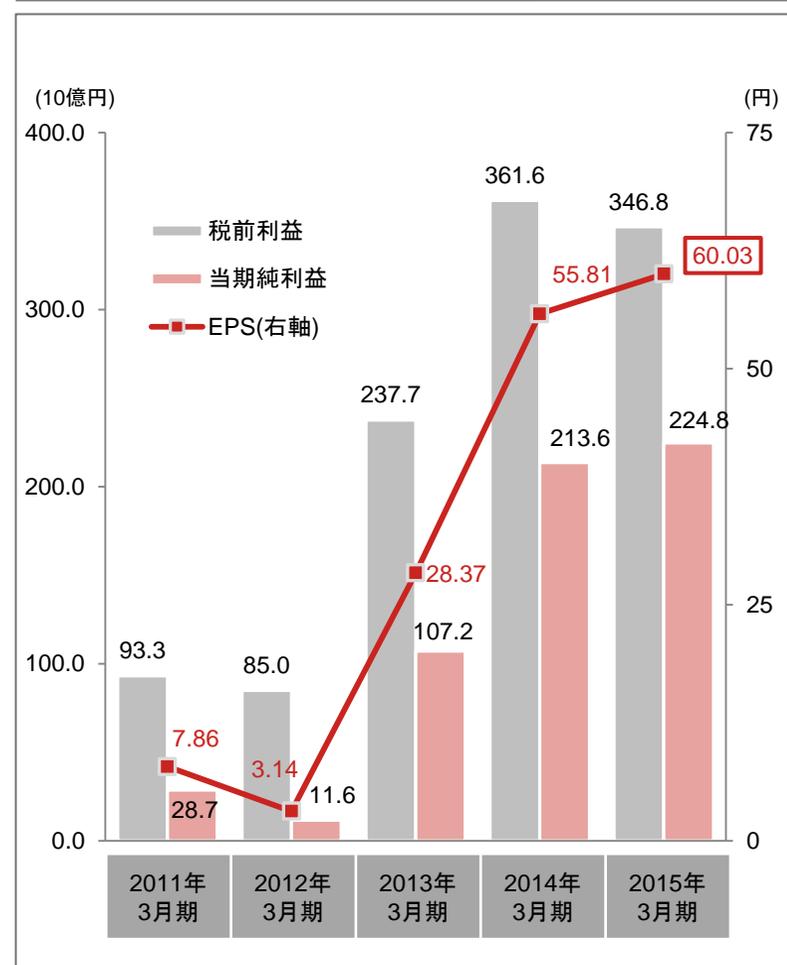
### アセット・マネジメント部門

- 税前利益は2008年3月期以降で最大
- 運用資産残高の拡大による収益増に加え、今期連結した台湾子会社も貢献

### ホールセール部門

- 好調なアジア収益が欧州・米州の減速を吸収、円安進行もあり増収
- Pay for performanceを徹底したものの円安進行でコストが増加、税前利益は減少

## 税前利益、当期純利益<sup>1</sup>、EPS<sup>3</sup>の推移



(1) 当社株主に帰属する当期純利益  
 (2) 2006年3月期の当社株主に帰属する当期純利益:3,043億円  
 (3) 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益

# エグゼクティブ・サマリー

## 2015年3月期第4四半期の決算ハイライト

### ■ 海外ビジネスの収益性改善が牽引し、当期純利益は直近2年間で最大

- 収益: 4,345億円、税前利益: 1,050億円、当期純利益<sup>1</sup>: 820億円、ROE<sup>2</sup>: 12.1%、EPS<sup>3</sup>: 22.08円

### ■ 3セグメントの税前利益は1,014億円(前四半期比68%増) ~ホールセール部門が大幅増益

#### 営業部門

- ビジネスモデルの変革に向けた取り組みが着実に進展、2016年3月期のストック収入目標を1年前倒しで達成
- 好調だった前四半期比では株式や債券販売等が減収要因となる一方、コストはシステム除却損等で増加

#### アセット・マネジメント部門

- 投資信託、投資顧問ともに資金流入し、運用資産残高は過去最大、収益も堅調
- 海外への出資分からの為替差損やシステム除去損など、一過性の費用を計上

#### ホールセール部門

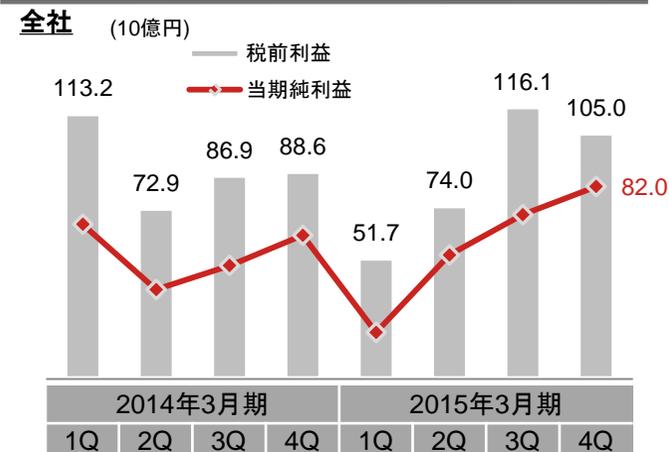
- 全ビジネスラインが増収 ~特に欧州・米州フィクスト・インカムが大幅回復
- コスト増を抑制し、四半期の税前利益としては直近6年間で最大

### ■ セグメント「その他」は税前損失40億円 ~前四半期(税前利益448億円)から大幅減益

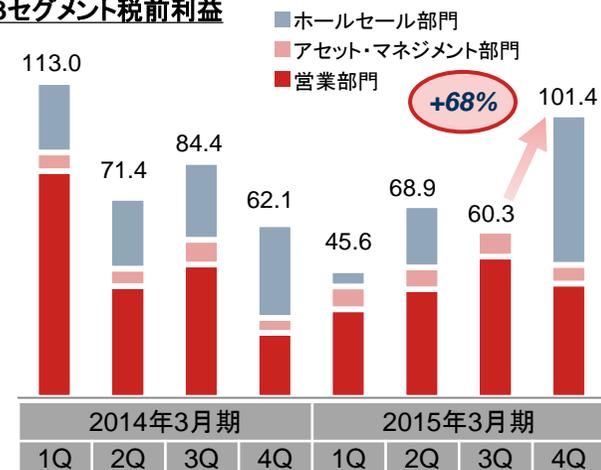
- クレジットスプレッドの変化に起因する損失、関連会社損益や保有有価証券の評価益等が減少

(1) 当社株主に帰属する当期純利益  
 (2) 各期間の当期純利益を年率換算して算出  
 (3) 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益

## 税前利益、当期純利益<sup>1</sup>の推移



## 3セグメント税前利益



# 決算概要

## 2015年3月期第4四半期

## 2015年3月期通期

(単位 10億円)	2015年3月期		前四半期比	前年同期比	2014年 3月期	2015年 3月期	前年 同期比
	3Q	4Q					
収益合計 (金融費用控除後)	425.0	434.5	+2%	+11%	1,557.1	1,604.2	+3%
営業部門	128.8	122.9	-5%	+26%	511.9	476.5	-7%
アセット・ マネジメント部門	23.4	23.9	+2%	+17%	80.5	92.4	+15%
ホールセール部門	178.9	231.5	+29%	+17%	765.1	789.9	+3%
3セグメント合計	331.2	378.3	+14%	+19%	1,357.5	1,358.7	+0.1%
その他	82.8	48.7	-41%	-40%	188.8	220.8	+17%
投資持分証券の 評価損益	11.0	7.6	-32%	-	10.7	24.7	+130%
金融費用以外の費用	308.9	329.6	+7%	+9%	1,195.5	1,257.4	+5%
税前利益	116.1	105.0	-10%	+19%	361.6	346.8	-4%
営業部門	50.5	40.9	-19%	+76%	192.0	161.8	-16%
アセット・ マネジメント部門	9.3	6.7	-29%	+25%	27.1	32.1	+18%
ホールセール部門	0.5	53.8	119x	+61%	111.8	82.2	-26%
3セグメント合計	60.3	101.4	+68%	+63%	330.9	276.1	-17%
その他 <sup>1</sup>	44.8	-4.0	-	-	20.0	46.0	+130%
投資持分証券の 評価損益	11.0	7.6	-32%	-	10.7	24.7	+130%
当期純利益 <sup>2</sup>	70.0	82.0	+17%	+34%	213.6	224.8	+5%

(1) 第4四半期の「その他」に関する補足: ①関連会社損益の持分額(126億円、第3四半期は182億円)、②自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(14億円、第3四半期は89億円の利益)、③足利ホールディングス株式の評価益(22億円、第3四半期は99億円の利益)

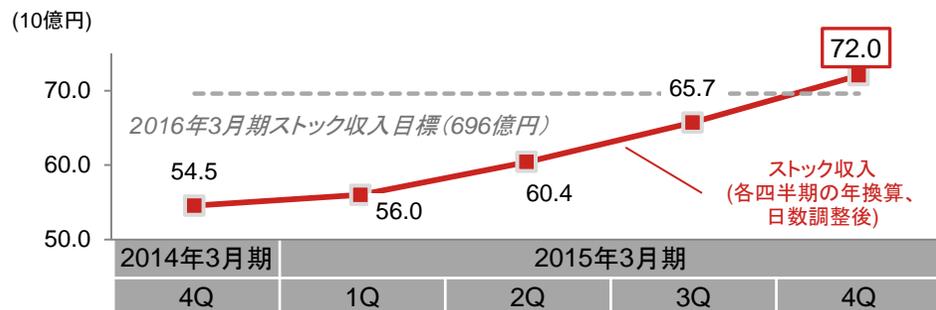
(2) 当社株主に帰属する当期純利益

# 営業部門

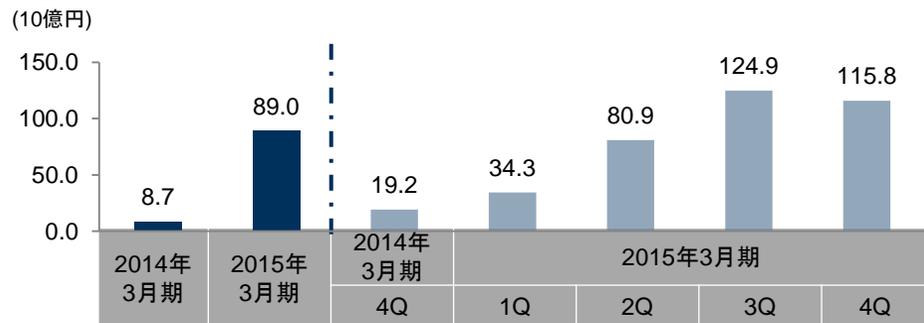
## 収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年 3月期 4Q	2015年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計 (金融費用控除後)	511.9	<b>476.5</b>	97.9	106.9	117.9	128.8	<b>122.9</b>	-5%	+26%	
金融費用以外の費用	319.9	<b>314.7</b>	74.6	75.3	79.1	78.3	<b>82.0</b>	+5%	+10%	
税前利益	192.0	<b>161.8</b>	23.3	31.6	38.9	50.5	<b>40.9</b>	-19%	+76%	

## ストック収入



## 投資一任純増(月平均)<sup>1</sup>



(1) リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象

(2) リテールチャネルのみ対象

(3) 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

## 決算のポイント

### <通期>

- 収益: 4,765億円 (前年比7%減)
- 税前利益: 1,618億円 (前年比16%減)
  - 2002年3月期以降で3番目に高い利益水準~好業績だった前年比では減益
- 市場要因等もあり、顧客資産残高(109.5兆円)は過去最高

### <第4四半期>

- 収益: 1,229億円 (前四半期比5%減、前年同期比26%増)
- 税前利益: 409億円 (前四半期比19%減、前年同期比76%増)
  - 株式や債券販売が減少、投信・保険は堅調
  - システム除却損の計上等でコストが増加
- ビジネスモデルの変革に向けた取り組みが着実に進展

- 残高拡大に向けた取り組みが奏功し、投信純増<sup>1</sup>、投資一任純増<sup>1</sup>が拡大
  - 市場要因も追い風となって年換算したストック収入は720億円まで伸長~2016年3月期目標である696億円を1年前倒しで達成

- ストック収入 178億円 (166億円)
  - 投資一任純増<sup>1</sup> 3,475億円 (3,746億円)
  - 投信純増<sup>1</sup> 1,531億円 (379億円)
- 保険販売額<sup>2</sup> 1,040億円 (1,011億円)
- 顧客基盤
  - 顧客資産残高 109.5兆円 (104.8兆円)
  - 現金本券差引<sup>3</sup> -1,373億円 (1,766億円)
  - NISA申込口座数 152万口座 (147万口座)

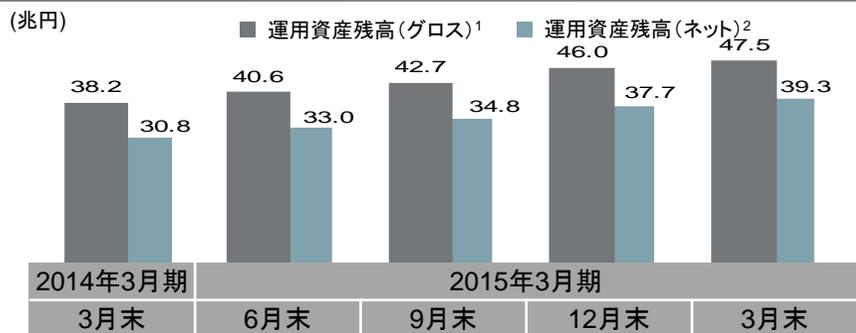
( )内は12月末 / 前四半期

# アセット・マネジメント部門

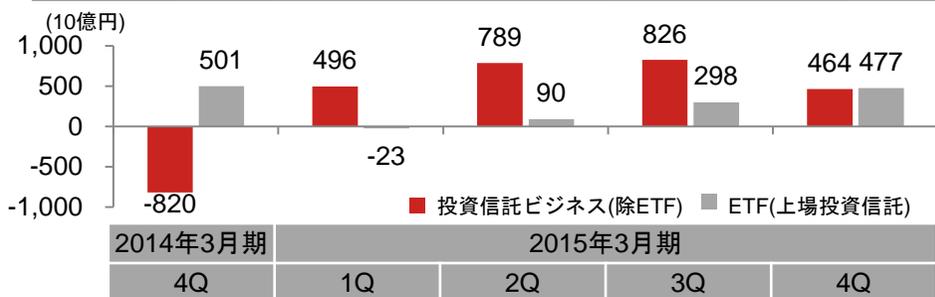
## 収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年 3月期 4Q	2015年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計 (金融費用控除後)	80.5	<b>92.4</b>	20.5	23.3	21.7	23.4	<b>23.9</b>	+2%	+17%	
金融費用以外の費用	53.4	<b>60.3</b>	15.1	15.1	13.9	14.1	<b>17.2</b>	+22%	+14%	
税前利益	27.1	<b>32.1</b>	5.3	8.3	7.8	9.3	<b>6.7</b>	-29%	+25%	

## 運用資産残高



## 投資信託ビジネスの資金流出入<sup>3</sup>



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後 (3) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入額 (4) 出所:投資信託協会 (5) Undertakings for Collective Investment in Transferable Securities (UCITS)、欧州委員会指令に定義される譲渡可能証券の集団投資事業のことで、欧州連合における投資信託の統一基準

## 決算のポイント

### <通期>

- 収益: 924億円 (前年比15%増)
- 税前利益: 321億円 (前年比18%増)
  - マーケット環境の改善と資金流入を通じて、運用資産残高が拡大
  - 今期連結した野村アセットマネジメント台湾の寄与もあり、収益は過去最大
  - 公募投信のシェア<sup>4</sup>が2005年3月期以降で最大

### <第4四半期>

- 収益: 239億円 (前四半期比2%増、前年同期比17%増)
- 税前利益: 67億円 (前四半期比29%減、前年同期比25%増)
  - 投資信託、投資顧問とも資金が流入
  - 海外への出資分からの為替差損や、システム除却損など、一過性の費用を計上

### 投資信託ビジネス

- インカムゲイン等を追求する投信や、投資一任向け投信への資金流入が継続
- 第4四半期資金流入額
- 野村グローバル高配当株プレミアム: 1,328億円
  - 野村テンプレート・トータル・リターン: 1,239億円
  - 野村ファンドラップ外国債券: 878億円
- 地域金融機関等への私募投信販売が引き続き好調(2014年3月末残高比約2.3倍)

### 投資顧問及び海外ビジネス

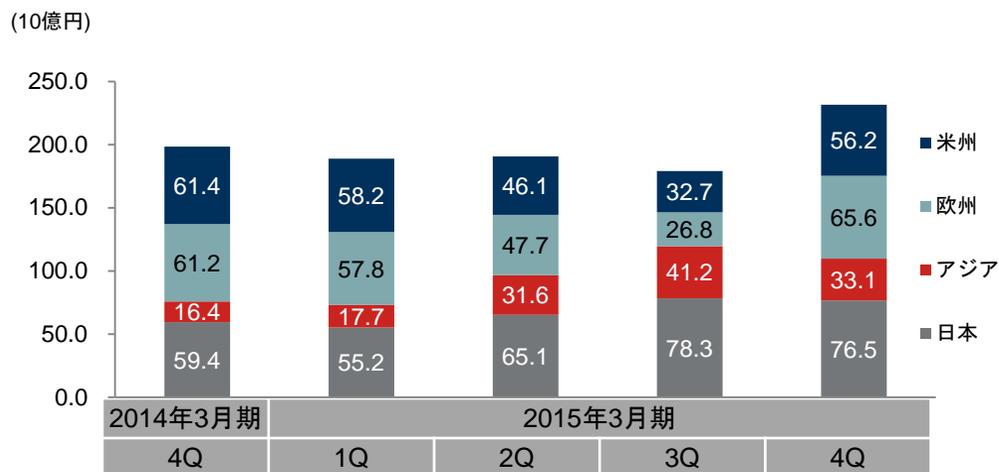
- 国内公的年金の国内株式アクティブ運用を受託
- UCITS<sup>5</sup>ファンドを通じ、海外ビジネスが拡大
  - 新規設定したグローバル債券ファンドが好調
  - 今期末のUCITSファンドの残高は8,569億円、2014年3月末から倍増

# ホールセール部門

## 収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年 3月期 4Q	2015年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
グローバル・マーケット	649.7	<b>683.4</b>	166.8	166.6	168.1	149.7	<b>199.0</b>	+33%	+19%	
インベストメント・バンキング	115.4	<b>106.5</b>	31.7	22.3	22.5	29.2	<b>32.4</b>	+11%	+2%	
収益合計 (金融費用控除後)	765.1	<b>789.9</b>	198.5	188.9	190.6	178.9	<b>231.5</b>	+29%	+17%	
金融費用以外の費用	653.3	<b>707.7</b>	165.0	183.1	168.4	178.5	<b>177.7</b>	-0.5%	+8%	
税前利益	111.8	<b>82.2</b>	33.5	5.7	22.2	0.5	<b>53.8</b>	119x	+61%	

## 地域別収益



## 決算のポイント

### <通期>

- 収益: 7,899億円 (前年比3%増)
- 税前利益: 822億円 (前年比26%減)
  - 好調なアジア収益が欧州・米州の減速を吸収、円安進行もあり増収
  - Pay for performanceを徹底したものの円安進行でコストが増加、税前利益は減少

### <第4四半期>

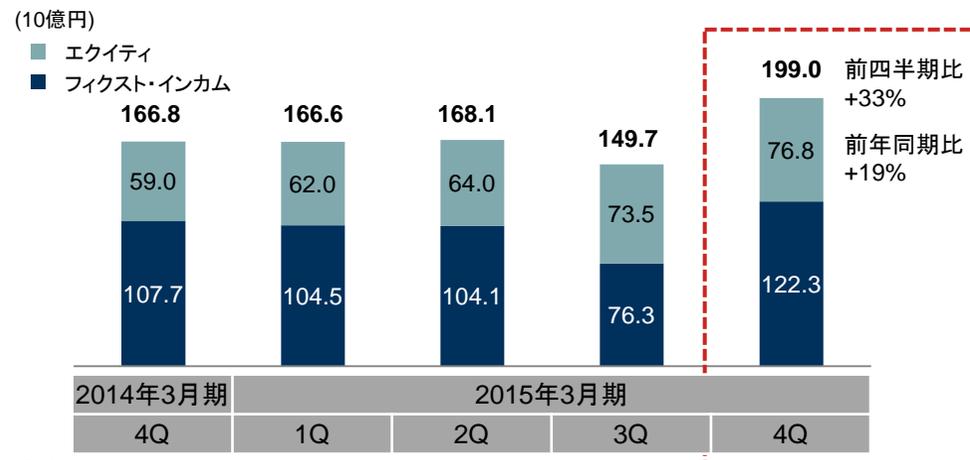
- 収益: 2,315億円 (前四半期比29%増、前年同期比17%増)
- 税前利益: 538億円 (前四半期比119倍、前年同期比61%増)
- 全ビジネスラインが増収
  - 特に欧州・米州フィクスト・インカムの特レーディング収益は大幅に回復
  - コスト増を抑制～四半期の税前利益としては直近6年間で最大

### 地域別概況(収益、前四半期比)

- 日本(765億円、2%減)
  - 若干の減収なるも、引き続き、部門収益を牽引
- 欧州(656億円、145%増)
  - 金利・クレジット等の大幅な改善を受け、欧州収益はV字回復
- 米州(562億円、72%増)
  - エクイティが好調を維持、クレジット中心にフィクスト・インカムは回復
  - インベストメント・バンキングはビジネス基盤構築以降、最大の四半期収益
- アジア(331億円、20%減)
  - 2009年4月以降で2番目の高収益～好調だった前四半期からは減速

# ホールセール部門: グローバル・マーケットおよびインベストメント・バンキング

## グローバル・マーケット: 収益合計(金融費用控除後)



### 決算のポイント

#### <第4四半期>

##### グローバル・マーケット

- 収益: 1,990億円 (前四半期33%増、前年同期比19%増)
- 徹底したリスク管理の中、的確に市場機会を捉え、欧州・米州のフィクスト・インカム収益が回復、アジアは前四半期から減速するも高水準の収益を確保

##### フィクスト・インカム

- 収益: 1,223億円 (前四半期比60%増、前年同期比13%増)
- 欧州・米州の金利やクレジットが回復、為替はグローバルに好調が継続

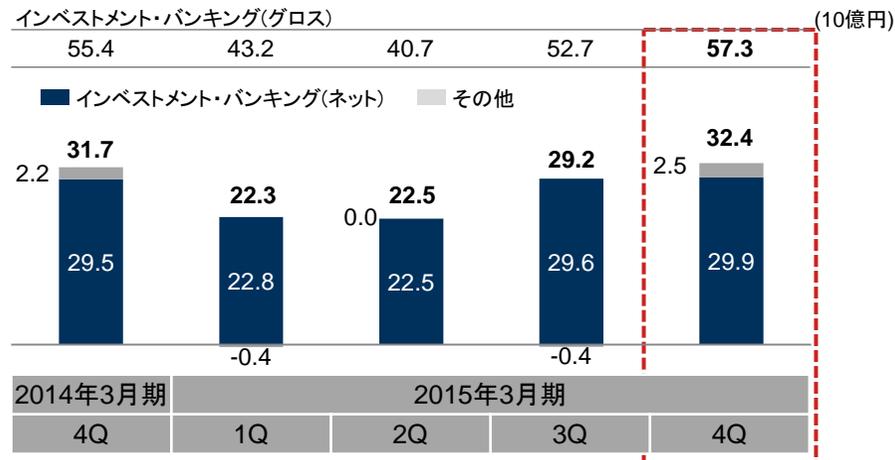
##### エクイティ

- 収益: 768億円 (前四半期比4%増、前年同期比30%増)
- 市場の活況に伴い欧州はキャッシュ・ビジネスが好調、日本・米州でデリバティブが改善

#### <2015年通期>

- 日本・アジアが牽引し、グローバル・マーケット収益は前年比で増加

## インベストメント・バンキング: 収益合計(金融費用控除後)



### 決算のポイント

#### <第4四半期>

- 収益: 324億円(前四半期比11%増、前年同期比2%増)
- インベストメント・バンキング(グロス)収益は573億円
- 2011年1-3月期以降で最高の四半期収益~米州中心に海外収益が拡大
- 日本は前四半期並みの収益を確保
  - ✓ LIXILや中国電力のCB、ソフトバンクのリテール債など大型案件を複数獲得
  - ✓ 顧客ニーズに合致した新商品の開発にも注力し、ソリューション収益が拡大
- 海外は前四半期比で増収~欧州・米州が牽引
  - ✓ 米州は2010年のビジネス基盤構築以降、最大の四半期収益
  - ✓ M&A複合化案件やソリューション・ビジネス、フィナンシャル・スポンサーや金融機関向けビジネスが収益に貢献

#### <2015年通期>

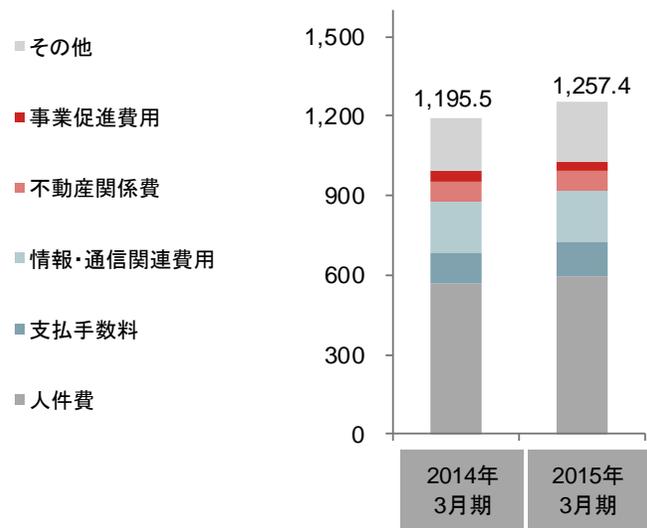
- 日本関連リーゲータブル<sup>1</sup>で首位
- 1兆円超を含む大型M&A案件やM&Aに付随する複合化案件を多数獲得
- <シェア(前年同期との比較)>
  - ECM: 32.1%→37.8%
  - DCM: 26.2%→34.1%
  - M&A: 17.2%→24.6%
- Repsol / Talisman Energy(M&A)
- BC Partners / PetSmart (M&A, ALF)
- 伊藤忠 / CP Group / CITIC(M&A)

(1) 出所:ECMIはトムソン・ロイター、DCMIはトムソン・ディールウォッチでの日本普通社債(含:自社債)、日本関連M&Aはトムソンロイター、期間:2014年4月-2015年3月

# 金融費用以外の費用

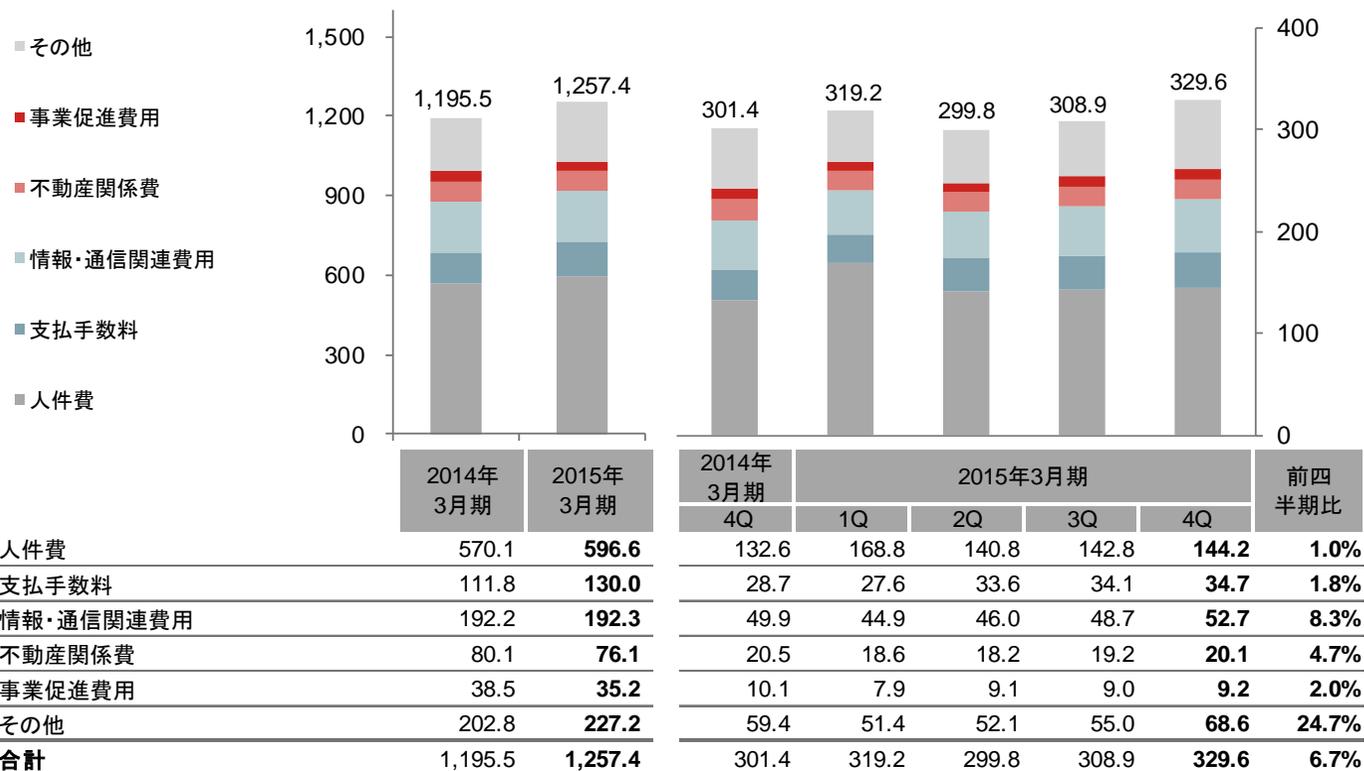
## 通期

(10億円)



## 四半期

(10億円)



## 決算のポイント

### <通期>

■ 金融費用以外の費用：1兆2,574億円  
(前年比5%増)

- 円安進行が主な増加要因
- 加えて、取引量の増加に伴う変動費(支払手数料)上昇や連結子会社の追加もコスト水準を押し上げ

### <四半期>

■ 金融費用以外の費用：3,296億円  
(前四半期比7%増)

- 円安進行に加え、「その他」に一時的なシステム除却損や海外出資分からの為替差損等を計上
- 人件費は為替インパクトを除けば減少

# 強固な財務基盤を維持

## バランス・シート関連指標と連結自己資本規制比率

	2014年 3月末	2014年 12月末	2015年 3月末
■ 資産合計	43.5兆円	44.1兆円	41.8兆円
■ 当社株主資本	2.5兆円	2.7兆円	2.7兆円
■ グロス・レバレッジ	17.3倍	16.2倍	15.4倍
調整後レバレッジ <sup>1</sup>	10.4倍	10.5倍	9.3倍
■ レベル3資産 <sup>2</sup> (デリバティブ負債相殺後)	0.4兆円	0.3兆円	0.3兆円
■ 流動性ポートフォリオ	6.1兆円	6.4兆円	6.1兆円

バーゼル3ベース (10億円)	2014年12月末	2015年3月末 <sup>2</sup>
Tier 1	2,484	2,459
Tier 2	367	361
自己資本合計	2,851	2,820
リスク調整後資産 <sup>3</sup>	19,810	18,933
Tier 1 比率	12.5%	12.9%
Tier 1 コモン比率 <sup>4</sup>	12.5%	12.9%
連結自己資本規制比率	14.3%	14.8%
レバレッジ比率 <sup>5</sup>	-	3.81%

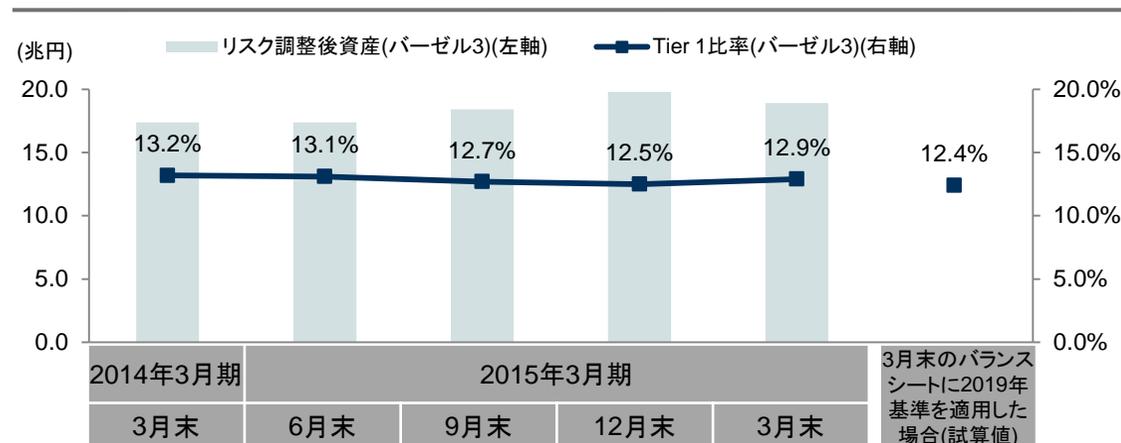
(1) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率

(2) 暫定数値 (3) 信用リスク・アセットの算出に用いるエクスポージャーの額は、期待エクスポージャー方式(IMM)を用いて算出

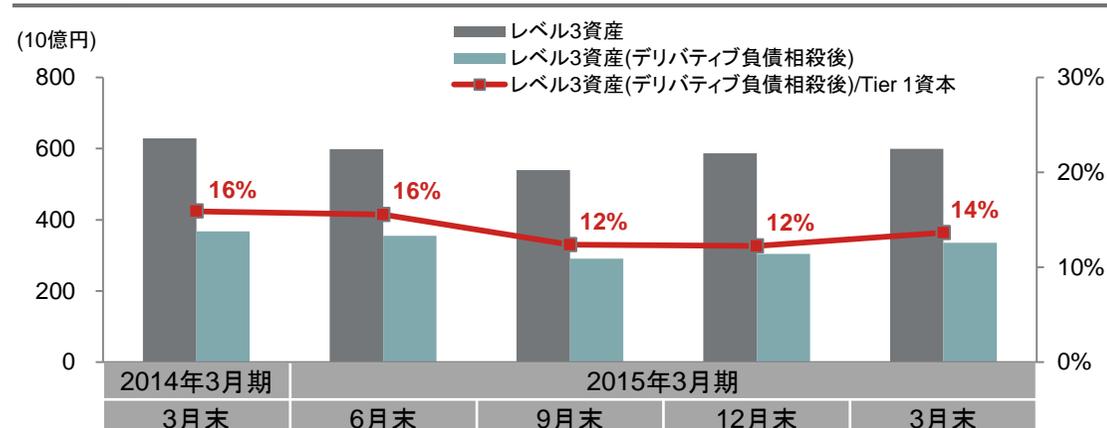
(4) Tier 1コモン比率: Tier 1資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したものの

(5) Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したものの

## リスク調整後資産<sup>3</sup>、Tier 1比率



## レベル3資産<sup>2</sup>の推移と対Tier 1資本比率



# 資金調達と流動性

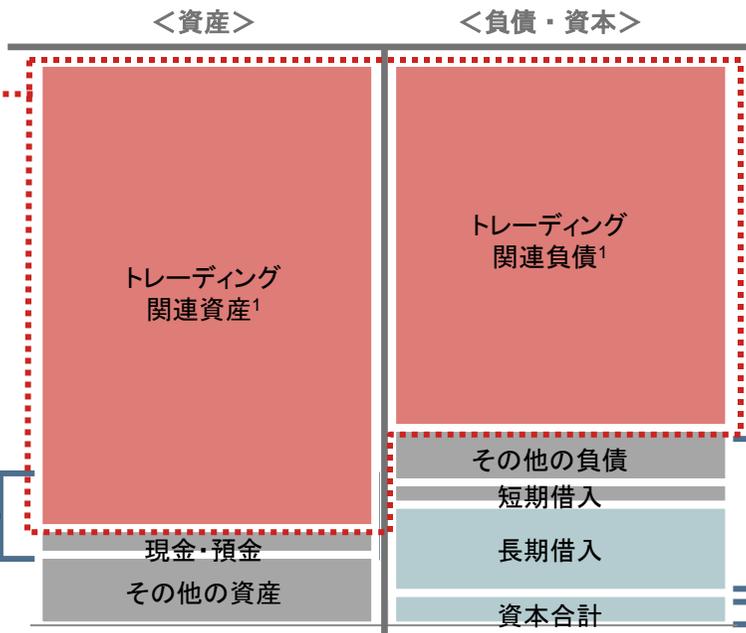
貸借対照表  
(2015年3月末現在)

## バランスシート構造

- 流動性の高い、健全なバランスシート構造
  - 資産の81%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
  - その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定

## 流動性ポートフォリオ<sup>2</sup>

- 流動性ポートフォリオ:
  - 6.1兆円、総資産の15%
  - 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持



## 調達構造

- 無担保調達資金<sup>2</sup>の8割強が長期負債
- 償還年限および調達先は幅広く分散

## 資本基盤

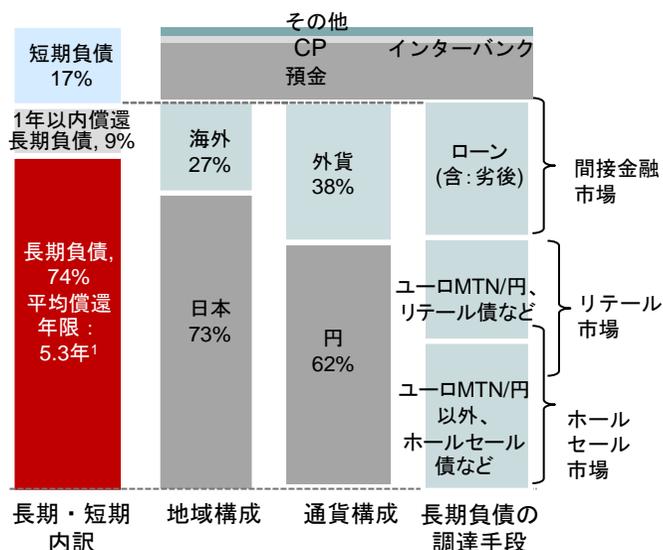
- 強固な資本基盤
  - バーゼル3ベース
    - ✓ Tier1比率: 12.9%
    - ✓ Tier1コモン比率<sup>3</sup>: 12.9%
    - ✓ グロスレバレッジ: 15.4倍
    - ✓ 調整後レバレッジ<sup>4</sup>: 9.3倍

(1) トレーディング関連資産: リバース・レポ、証券、デリバティブ等、トレーディング関連負債: レポ、負債証券、デリバティブ等  
 (2) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない  
 (3) Tier 1コモン比率: Tier 1資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したもの  
 (4) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率

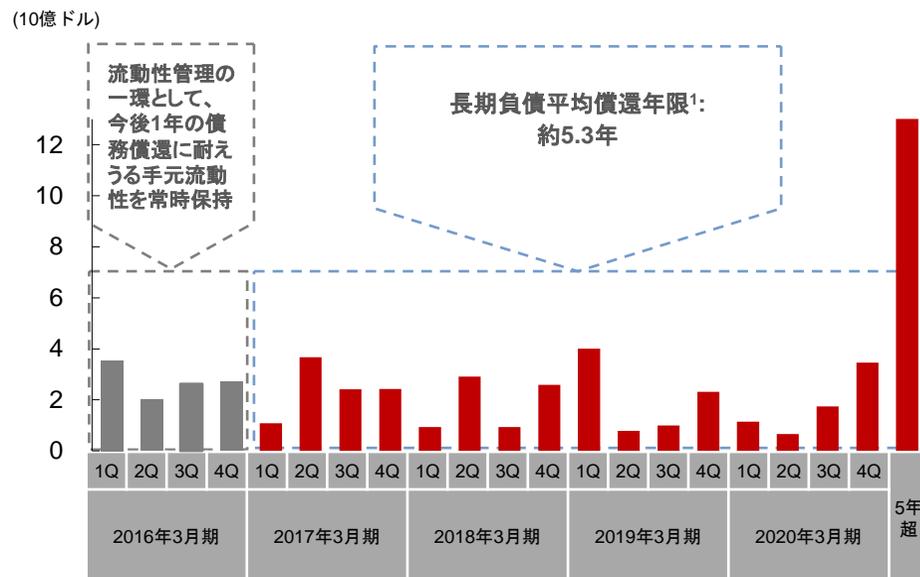
# 調達構造

- 無担保調達の8割強を長期負債が占める長期調達構造を維持
- 調達チャンネルを以下3つの市場へ分散することにより、再調達リスクを低減
  - ✓ 間接金融市場: 邦銀を中心としたリレーションシップ・バンクからの調達
  - ✓ ホールセール市場: インターナショナルな投資家を含む機関投資家向け債券市場へのアクセス
  - ✓ リテール市場: 広範な国内リテール網を通じた調達
- 償還期限を分散、長期負債平均償還年限<sup>1</sup>は約5.3年
- 円貨・外貨ともに、公募、私募、銀行借入等への分散化、償還の平準化に留意しつつ、市場環境あるいは当社のビジネス需要に応じて、機動的な調達を継続

無担保調達資金<sup>2</sup>: 8割強が長期負債、調達先は分散(2015年3月末)



再調達リスクを管理、長期負債償還年限<sup>1</sup>は約5.3年(2015年3月末)



(1) 1年以内償還長期負債を除く。ストレステストでの早期償還確率を織り込む

(2) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオ中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない

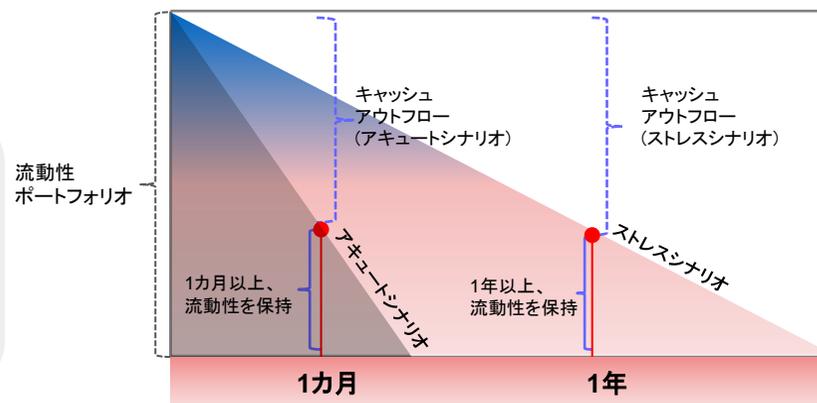
# 流動性ポートフォリオ

- ストレストストに基づく流動性管理。6.1兆円（約505億ドル）の流動性ポートフォリオ<sup>1</sup>を保持（2015年3月末）
- G4国債等の高流動性資産で構成、通貨・保有エンティティともにバランスよく配置

## 流動性管理方針 ～ ストレストストに基づくキャッシュフロー・モデルにより管理

- ストレストストを用いて流動性リスクを管理
- 2つのストレスシナリオにおいて、保有資産を維持しつつ、無担保の資金調達(含む再調達)をせずに、一定期間、業務を継続することが出来る十分な流動性を保持することを基本とする
  - ① ストレスシナリオ： 市場全体が流動性ストレスにさらされる状況（＝1年間）
  - ② アキュートシナリオ： 上記に加えて、当社の信用力に対して懸念をもたれるなど過度なストレスがかかる状況（＝1カ月間）

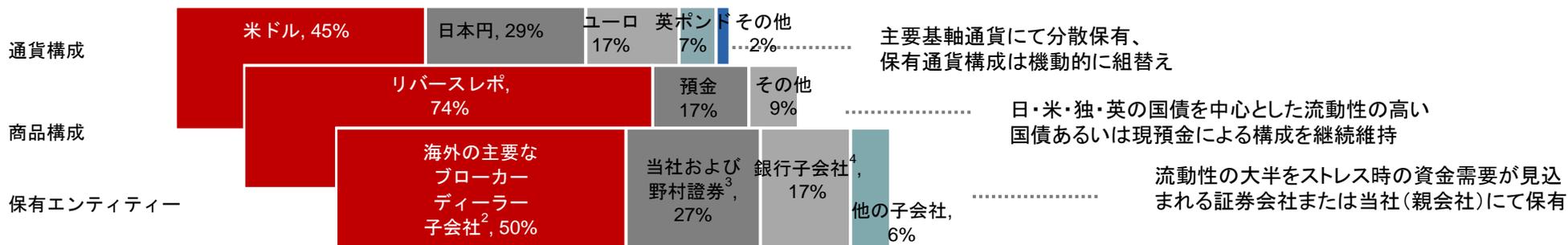
2つのシナリオ下での  
流動性ポートフォリオ<sup>1</sup>推移(概念図)



### 主なストレス項目

- ✓ 提供したコミットメントローンの一部または全額引出による資金流出
- ✓ ストレス時に予想されるストラクチャードノート、仕組みローンの早期償還による資金流出
- ✓ 既存のレポ調達時の担保掛目の拡大
- ✓ 損失による流動性の低下
- ✓ 決済にかかる担保の追加差入
- ✓ 発行済み社債の買い取りの可能性
- ✓ 格付け機関による格下げ、等

## 流動性ポートフォリオ構成(2015年3月末)



(1) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオ中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない。(2) Nomura International PLC, Nomura Securities International Inc. 等  
 (3) 野村証券は日本のブローカーディーラーであり、日本銀行に口座を維持し、日本銀行のロンバート貸付制度を直接利用することにより、同日資金調達が可能。当社における余剰流動性は必要な時に即時解約可能な短期社内貸付により、野村証券に貸し出している (4) Nomura Bank International PLC, Nomura Singapore Limited, Nomura Bank (Luxembourg) S.A. 等

信用格付

2015年4月30日現在	Standard & Poor's	Moody's	Fitch Ratings	格付投資情報センター(R&I)	日本格付研究所(JCR)
<b>野村ホールディングス株式会社</b>					
長期格付	BBB+	Baa1	A-	A+	AA-
短期格付	A-2	-	F1	a-1	-
見通し	安定的	安定的	安定的	安定的	安定的
<b>野村證券株式会社</b>					
長期格付	A-	A3	A-	A+	AA-
短期格付	A-2	P-2	F1	a-1	-
見通し	安定的	安定的	安定的	安定的	安定的
<b>野村信託銀行株式会社</b>					
長期格付	A-	-	-	-	AA-
短期格付	A-2	-	-	a-1	-
見通し	安定的	-	-	-	安定的
<b>ノムラ・バンク・インターナショナル PLC</b>					
長期格付	A-	-	-	-	AA-
短期格付	A-2	-	-	-	-
見通し	安定的	-	-	-	安定的

# Financial Supplement

# バランス・シート関連データ

(単位：百万円)

	(単位：百万円)		
	前 期 (2014. 3. 31)	当 期 (2015. 3. 31)	前期比増減
<b>資産</b>			
現金・預金：			
現金および現金同等物	1,489,792	1,315,408	△174,384
定期預金	363,682	328,151	△35,531
取引所預託金およびその他の顧客分別金	335,836	453,037	117,201
計	2,189,310	2,096,596	△92,714
貸付金および受取債権：			
貸付金	1,327,875	1,461,075	133,200
顧客に対する受取債権	64,070	187,026	122,956
顧客以外に対する受取債権	1,181,742	1,303,576	121,834
貸倒引当金	△3,009	△3,253	△244
計	2,570,678	2,948,424	377,746
担保付契約：			
売戻条件付買入有価証券	9,617,675	8,481,474	△1,136,201
借入有価証券担保金	7,729,326	8,238,046	508,720
計	17,347,001	16,719,520	△627,481
トレーディング資産およびプライベート・エクイティ投資：			
トレーディング資産※	18,672,318	17,260,121	△1,412,197
プライベート・エクイティ投資	41,996	48,727	6,731
計	18,714,314	17,308,848	△1,405,466
その他の資産：			
建物、土地、器具備品および設備 (2014年3月31日現在 350,820百万円、 2015年3月31日現在 383,992百万円の減価償却累計額控除後)	408,917	401,069	△7,848
トレーディング目的以外の負債証券※	1,023,746	948,180	△75,566
投資持分証券※	136,740	159,755	23,015
関連会社に対する投資および貸付金※	345,434	378,278	32,844
その他	784,174	822,566	38,392
計	2,699,011	2,709,848	10,837
資産合計	43,520,314	41,783,236	△1,737,078

※担保差入有価証券を含む

(単位：百万円)

	(単位：百万円)		
	前 期 (2014. 3. 31)	当 期 (2015. 3. 31)	前期比増減
<b>負債および資本</b>			
短期借入	602,131	662,256	60,125
支払債務および受入預金：			
顧客に対する支払債務	492,516	723,839	231,323
顧客以外に対する支払債務	1,230,176	1,454,361	224,185
受入銀行預金	1,114,181	1,220,400	106,219
計	2,836,873	3,398,600	561,727
担保付調達：			
買戻条件付売却有価証券	13,937,690	12,217,144	△1,720,546
貸付有価証券担保金	2,359,809	2,494,036	134,227
その他の担保付借入	814,500	668,623	△145,877
計	17,111,999	15,379,803	△1,732,196
トレーディング負債	11,047,285	10,044,236	△1,003,049
その他の負債	1,141,750	1,217,099	75,349
長期借入	8,227,063	8,336,296	109,233
負債合計	40,967,101	39,038,290	△1,928,811
資本			
当社株主資本：			
資本金			
授権株式数	-	6,000,000,000株	
発行済株式数	-	2014年3月31日現在 3,822,562,601株 2015年3月31日現在 3,822,562,601株	
発行済株式数 (自己株式控除後)	-	2014年3月31日現在 3,717,630,462株 2015年3月31日現在 3,598,865,213株	
資本剰余金	594,493	594,493	-
利益剰余金	683,638	683,407	△231
累積的その他の包括利益	1,287,003	1,437,940	150,937
計	20,636	143,739	123,103
計	2,585,770	2,859,579	273,809
自己株式(取得価額)			
自己株式数	-	2014年3月31日現在 104,932,139株 2015年3月31日現在 223,697,388株	
計	△72,090	△151,805	△79,715
当社株主資本合計	2,513,680	2,707,774	194,094
非支配持分	39,533	37,172	△2,361
資本合計	2,553,213	2,744,946	191,733
負債および資本合計	43,520,314	41,783,236	△1,737,078

連結損益

(10億円)	通期		四半期					
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期				
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
収益								
委託・投信募集手数料	473.1	<b>453.4</b>	89.5	95.6	110.8	123.2	<b>123.7</b>	
投資銀行業務手数料	91.3	<b>95.1</b>	27.2	19.8	20.6	28.8	<b>25.8</b>	
アセットマネジメント業務手数料	168.7	<b>203.4</b>	42.5	46.1	49.7	53.3	<b>54.3</b>	
トレーディング損益	476.4	<b>531.3</b>	129.2	158.6	129.0	109.5	<b>134.3</b>	
プライベート・エクイティ投資関連損益	11.4	<b>5.5</b>	-0.3	-0.3	0.5	-0.2	<b>5.5</b>	
金融収益	416.3	<b>436.8</b>	100.3	104.9	108.8	115.6	<b>107.5</b>	
投資持分証券関連損益	15.2	<b>29.4</b>	-5.2	6.3	2.9	11.8	<b>8.4</b>	
その他	179.5	<b>175.7</b>	67.7	31.1	28.5	65.6	<b>50.5</b>	
収益合計	1,831.8	<b>1,930.6</b>	450.8	462.2	450.8	507.6	<b>510.0</b>	
金融費用	274.8	<b>326.4</b>	60.8	91.3	77.0	82.6	<b>75.5</b>	
収益合計(金融費用控除後)	1,557.1	<b>1,604.2</b>	389.9	370.8	373.8	425.0	<b>434.5</b>	
金融費用以外の費用	1,195.5	<b>1,257.4</b>	301.4	319.2	299.8	308.9	<b>329.6</b>	
税引前当期純利益	361.6	<b>346.8</b>	88.6	51.7	74.0	116.1	<b>105.0</b>	
当社株主に帰属する当期純利益	213.6	<b>224.8</b>	61.3	19.9	52.9	70.0	<b>82.0</b>	

# 連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

## 連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

(10億円)	通期		四半期				
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業部門	192.0	<b>161.8</b>	23.3	31.6	38.9	50.5	<b>40.9</b>
アセット・マネジメント部門	27.1	<b>32.1</b>	5.3	8.3	7.8	9.3	<b>6.7</b>
ホールセール部門	111.8	<b>82.2</b>	33.5	5.7	22.2	0.5	<b>53.8</b>
3セグメント合計税前利益	330.9	<b>276.1</b>	62.1	45.6	68.9	60.3	<b>101.4</b>
その他	20.0	<b>46.0</b>	34.2	2.6	2.5	44.8	<b>-4.0</b>
セグメント合計税前利益	350.9	<b>322.1</b>	96.2	48.2	71.4	105.1	<b>97.4</b>
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	10.7	<b>24.7</b>	-7.7	3.5	2.6	11.0	<b>7.6</b>
税前利益	361.6	<b>346.8</b>	88.6	51.7	74.0	116.1	<b>105.0</b>

## 地域別情報:税前利益(損失)<sup>1</sup>

(10億円)	通期		四半期				
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
米州	29.5	<b>-27.6</b>	31.2	6.1	-6.8	-12.7	<b>-14.2</b>
欧州	-48.9	<b>-23.5</b>	-10.1	-22.9	2.0	-10.4	<b>7.8</b>
アジア・オセアニア	-5.2	<b>34.6</b>	-5.2	-0.3	8.5	16.2	<b>10.3</b>
海外合計	-24.7	<b>-16.4</b>	15.9	-17.1	3.7	-7.0	<b>3.9</b>
日本	386.3	<b>363.2</b>	72.6	68.8	70.3	123.1	<b>101.0</b>
税前利益	361.6	<b>346.8</b>	88.6	51.7	74.0	116.1	<b>105.0</b>

(1) 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第4四半期の数値は速報値)。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

営業部門関連データ

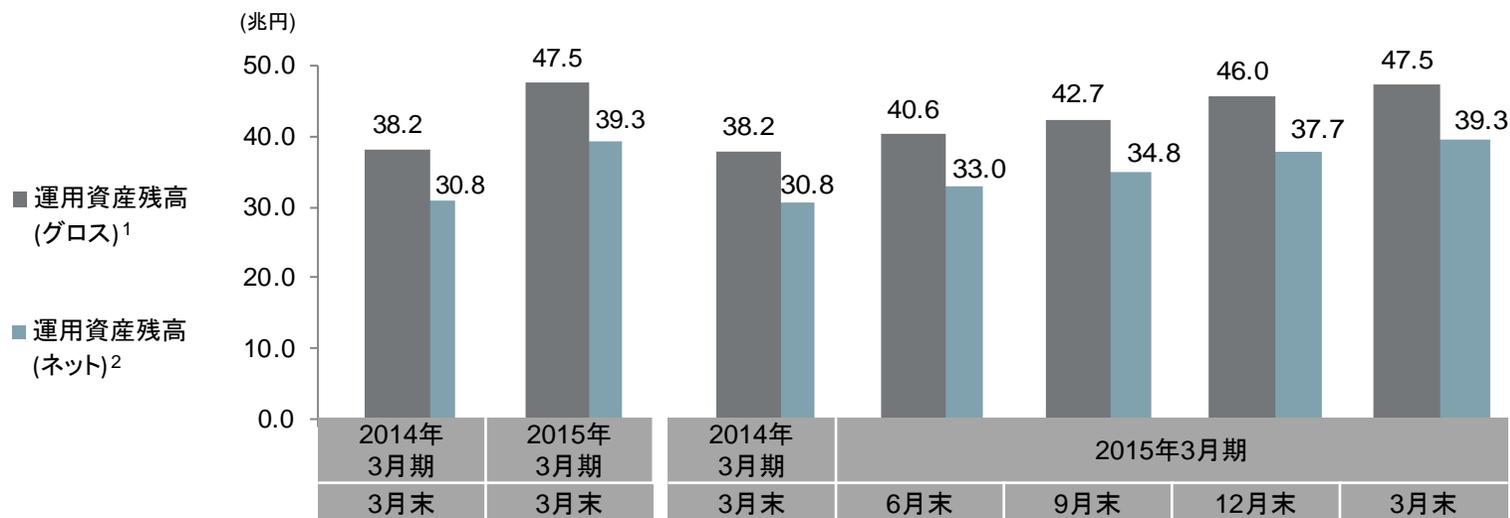
(10億円)	通期		四半期					前四 半期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期			4Q	
			4Q	1Q	2Q	3Q		
委託・投信募集手数料	300.2	<b>258.9</b>	46.1	55.4	67.5	70.6	<b>65.3</b>	-7.4%
販売報酬	106.1	<b>106.4</b>	26.4	25.0	25.9	30.0	<b>25.4</b>	-15.3%
投資銀行業務手数料等	40.3	<b>32.5</b>	9.1	9.1	6.7	8.7	<b>8.0</b>	-7.3%
投資信託残高報酬等	57.5	<b>71.9</b>	14.3	15.0	16.4	18.1	<b>22.3</b>	23.6%
純金融収益等	7.7	<b>6.9</b>	1.9	2.3	1.3	1.5	<b>1.8</b>	21.7%
収益合計(金融費用控除後)	511.9	<b>476.5</b>	97.9	106.9	117.9	128.8	<b>122.9</b>	-4.6%
金融費用以外の費用	319.9	<b>314.7</b>	74.6	75.3	79.1	78.3	<b>82.0</b>	4.7%
税前利益	192.0	<b>161.8</b>	23.3	31.6	38.9	50.5	<b>40.9</b>	-19.0%
国内投信販売金額 <sup>1</sup>	10,146.4	<b>9,478.5</b>	1,794.1	2,245.2	2,380.2	2,516.7	<b>2,336.3</b>	-7.2%
公社債投信	3,146.3	<b>3,110.2</b>	768.2	795.3	743.9	831.3	<b>739.8</b>	-11.0%
株式投信	6,201.4	<b>5,445.1</b>	836.8	1,264.4	1,402.8	1,405.4	<b>1,372.4</b>	-2.3%
外国投信	798.7	<b>923.1</b>	189.1	185.5	233.6	280.0	<b>224.1</b>	-20.0%
その他								
年金保険契約累計額(期末)	2,033.1	<b>2,401.7</b>	2,033.1	2,123.6	2,206.2	2,305.2	<b>2,401.7</b>	4.2%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	1,037.0	<b>380.6</b>	214.6	153.5	95.4	84.0	<b>47.8</b>	-43.1%
リテール外債販売額	1,595.6	<b>1,255.7</b>	386.6	363.9	276.3	361.1	<b>254.4</b>	-29.5%

(1) ネット&コール、ほっとダイレクトを除く

# アセット・マネジメント部門関連データ

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年 3月期 4Q	2015年3月期					
				1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	80.5	<b>92.4</b>	20.5	23.3	21.7	23.4	<b>23.9</b>	<b>1.9%</b>	<b>16.7%</b>
金融費用以外の費用	53.4	<b>60.3</b>	15.1	15.1	13.9	14.1	<b>17.2</b>	<b>22.2%</b>	<b>13.7%</b>
税前利益	27.1	<b>32.1</b>	5.3	8.3	7.8	9.3	<b>6.7</b>	<b>-28.7%</b>	<b>25.4%</b>

## アセット・マネジメント部門 運用資産残高



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計  
 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

# ホールセール部門関連データ

## ホールセール部門

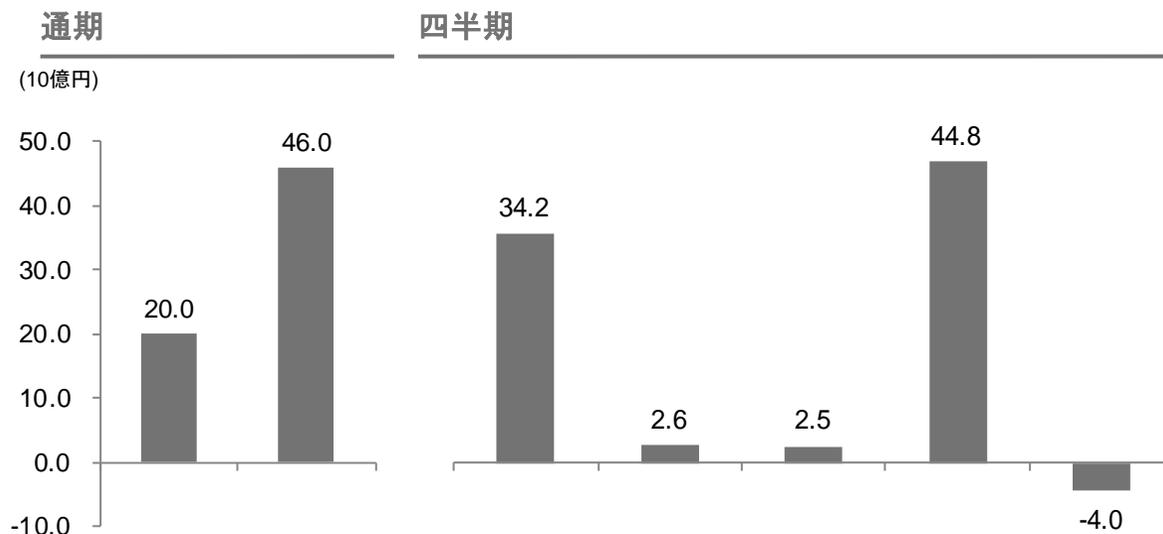
(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	765.1	<b>789.9</b>	198.5	188.9	190.6	178.9	<b>231.5</b>	<b>29.4%</b>	<b>16.6%</b>
金融費用以外の費用	653.3	<b>707.7</b>	165.0	183.1	168.4	178.5	<b>177.7</b>	<b>-0.5%</b>	<b>7.7%</b>
税前利益	111.8	<b>82.2</b>	33.5	5.7	22.2	0.5	<b>53.8</b>	<b>119x</b>	<b>60.7%</b>

## ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
フィクスト・インカム	398.2	<b>407.2</b>	107.7	104.5	104.1	76.3	<b>122.3</b>	<b>60.4%</b>	<b>13.5%</b>
エクイティ	251.5	<b>276.2</b>	59.0	62.0	64.0	73.5	<b>76.8</b>	<b>4.5%</b>	<b>30.0%</b>
グローバル・マーケットツ	649.7	<b>683.4</b>	166.8	166.6	168.1	149.7	<b>199.0</b>	<b>32.9%</b>	<b>19.3%</b>
インベストメント・バンキング(ネット)	97.4	<b>104.7</b>	29.5	22.8	22.5	29.6	<b>29.9</b>	<b>1.0%</b>	<b>1.3%</b>
その他	18.0	<b>1.8</b>	2.2	-0.4	0.0	-0.4	<b>2.5</b>	-	<b>15.7%</b>
インベストメント・バンキング	115.4	<b>106.5</b>	31.7	22.3	22.5	29.2	<b>32.4</b>	<b>11.0%</b>	<b>2.3%</b>
収益合計(金融費用控除後)	765.1	<b>789.9</b>	198.5	188.9	190.6	178.9	<b>231.5</b>	<b>29.4%</b>	<b>16.6%</b>
インベストメント・バンキング(グロス)	184.3	<b>193.8</b>	55.4	43.2	40.7	52.7	<b>57.3</b>	<b>8.8%</b>	<b>3.4%</b>

セグメント「その他」

税前利益(損失)



	2014年		2015年				
	3月期	3月期	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	17.4	15.1	6.5	6.9	2.2	6.4	-0.3
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	4.4	4.7	2.4	2.9	0.3	0.8	0.8
関連会社損益の持分額	28.6	42.2	6.2	3.5	8.0	18.2	12.6
本社勘定	-38.8	-20.1	-3.8	-3.1	-8.4	-3.2	-5.5
その他	8.4	4.0	22.8	-7.6	0.5	22.6	-11.5
税前利益(損失)	20.0	46.0	34.2	2.6	2.5	44.8	-4.0

# バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼水準 : 99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2014.4.1~2015.3.31
- 最大 : 9.8
- 最小 : 3.1
- 平均 : 6.4

(10億円)	2014年	2015年	2014年	2015年3月期			
	3月期	3月期	3月期	6月末	9月末	12月末	3月末
	3月末	3月末	3月末				
株式関連	1.3	<b>1.0</b>	1.3	2.8	1.5	3.3	<b>1.0</b>
金利関連	3.9	<b>4.2</b>	3.9	5.2	4.2	4.5	<b>4.2</b>
為替関連	2.8	<b>1.1</b>	2.8	2.0	2.7	3.1	<b>1.1</b>
小計	8.0	<b>6.2</b>	8.0	10.0	8.5	10.9	<b>6.2</b>
分散効果	-2.9	<b>-1.6</b>	-2.9	-0.7	-1.6	-1.2	<b>-1.6</b>
<b>連結VaR</b>	5.2	<b>4.6</b>	5.2	9.3	6.8	9.7	<b>4.6</b>

	2014年	2015年	2014年3月期	2015年3月期			
	3月期	3月期		3月末	6月末	9月末	12月末
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
日本(FA除く)	14,149	<b>14,144</b>	14,149	14,559	14,391	14,290	<b>14,144</b>
FA社員	1,888	<b>1,829</b>	1,888	1,889	1,853	1,853	<b>1,829</b>
欧州	3,461	<b>3,485</b>	3,461	3,481	3,530	3,539	<b>3,485</b>
米州	2,281	<b>2,449</b>	2,281	2,335	2,421	2,445	<b>2,449</b>
アジア・オセアニア <sup>1</sup>	5,891	<b>6,765</b>	5,891	6,656	6,744	6,762	<b>6,765</b>
合計	27,670	<b>28,672</b>	27,670	28,920	28,939	28,889	<b>28,672</b>

(1) インド(ボワイ・オフィス)を含む

## Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2015年3月期通期ならびに第4四半期の業績に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<http://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Morningstar Award "Fund of the Year 2014"は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として、モーニングスター独自の定量分析、定性分析に基づき、2014年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。

リッパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リッパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

**Nomura Holdings, Inc.**

[www.nomura.com/jp/](http://www.nomura.com/jp/)